

① 訃報 平成 25 年 5 月 8 日以降の連絡なし。

② 住居・勤務先変更

* 住所変更等連絡なし。

③ 午餐会・懇話会

* 第 502 回午餐会 25 年 5 月 8 日 (水) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 河崎 善一郎氏 大阪大学 名誉教授

テーマ 「雷に魅せられて 一大気電気研究 34 年」

出席者 3 理甲 遺津賀美智子・15 文乙 藤井甚十郎・理甲 三木卓一・16 理 2 山村好弘

17 文 1 遺山田満知子・文 2 螺良英郎・理甲 1 栗野正之・18 理甲 1 遺新家和己

18 理甲 2 宇津敏勝・理甲 4 高岸宗吾・理乙 橋田進・19 理甲 3 三浦昭二郎

20 文乙 城野伊一郎・理 2 熊谷信昭・鶴岡誠・21 文甲 1 穎川勉二・真銅孝三

21 文乙 村田正孝・理 2 島隆夫・武田晃世・前田泰敬・理 3 後藤業明・理 4 川島康生

22 文甲 2 井本憲伺・理 3 井上達明・芳賀洋・理 4 大路清嗣

事務局 阪田訓子

以上 26 名

④ 各地寮歌祭

報告事項なし。

⑤ 支部だより

* 関東浪高会 5 月午餐会 25 年 5 月 10 日 (金) 正午～14 時 30 分 於 新橋 かに道楽

出席者 12 文乙 平井迪郎・13 理甲 蜂谷謙一・16 理 1 清岡繁夫・19 文甲 2 高間宏治

19 理甲 2 武田聰光・渡邊衡夫・19 理甲 4 藤田宏・21 文甲 1 徳久俊彦・文甲 2 田中昂

22 文甲 1 近久達夫・文乙 亀田一彦

以上 12 名

5 月の例会は、予め話題として「長寿の楽しみ」と健康状態、病歴等をテーマとする旨の案内であったが、紙上参加 (当日欠席) の 2 名 (11 文乙 中尾充夫、18 文 2 田路俊郎) からの手紙の披露もあり、出席者各自から、関連テーマについて活発な発言があり、特に今年 92 歳と 90 歳 (平井さん、蜂谷さん) のお二人は、現在どこも悪い処はなく、極めて健康で、活躍されている話もあって、大変有意義な午餐会となった。

⑥ 同期同級交歓

* 21 回理 3 クラス会 25 年 5 月 12 日 (日) 13 時より

於 梅田阪急ターミナルビル 17 F “有馬”

出席者 金多潔・下里常弘・志水洋二・竹原登・後藤業明・辻井健一・中西克己

中島礼士・松村賢治・石川俊彦

以上 10 名

欠席 武田正治 (出席途上、上六で体調不全のため引返す)・玉井恭二

⑦ 運動部・同好会だより

報告事項なし。

報 告

三高第 145 回祈念祭全国大会に参加して

旧制第三高等学校は、明治 2 年 5 月 1 日大阪に創業した「舎密局」を起源として、明治 22 年京都吉田山麓に移転し、明治 27 年高等学校令によって三高となったのがその歴史だそうで、その明治 2 年 (1869) 5 月を第 1 回三高創立記念日としている。それから数えて今年 145 回。その祈年祭がこの 5 月 20 日 ウェスティン都ホテルで開かれました。然し三高同窓会もこの大会で幕を閉じることになり、参加した 17 の友誼校の一人として出席してきました。

参加者は同伴者、遺族を含めて 460 名で広い会場も埋め尽くされました。物故者追悼、京大総長の祝辞などの行事に続いて、祇園の芸者衆による手打ちが華を添え、鏡開き、103 歳の米田貞一郎氏 (昭和 6 年卒) の元気な乾杯の音頭で宴会が始まりました。そして三高歌集の数々が、平均年齢 85 歳?とは思えない蛮声で披露されました。そして行春哀歌あたりになるとしんみりと最後の同窓会を惜しむ歌声に聞こえました。それでも約 3 時間皆さん旧友との別れを惜しみ、さいごは全員肩を組んで、琵琶湖周航の歌を歌って散会となりましたが、何とも切ない大会と観じたのは私だけではないかと思います。

(19 理 1 寿栄松 憲昭)